

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

大宜味中学校、国頭地区中学校音楽発表会最優秀賞！！

全沖縄学校音楽発表会出場決定！！



11月17日（日）、名護市民会館において第51回国頭地区中学校音楽発表会が開催され、大宜味中学校の全生徒が全校合唱の部出場し、最優秀賞に輝き、国頭地区代表として第66回全沖縄学校音楽発表会に出場することが決まりました。

この日歌った「結—ゆい—」は10月に行われた校内合唱コンクールの課題曲。これまでは各学年で練習してきた歌を、今回は全校生徒で合わせることとなり、今まで以上に練習に励んできた生徒たち。実行委員長の照屋希紗乃さんは「全校生徒だったので、変声期が始まる前の1年生が3年生の声に合わせてたり、ソプラノに合わせてたりするのが大変だった。声の出ている人、出ているだけが目立ってしまわないよう、みんなでカバーしながら練習した」ピアノ伴奏を担当した山城果林アリスさんは「転入してきたばかりなので練習期間も短く、みんなの歌い方も知らなかったのが大変だった」と振り返りました。

次回大会に向けて希紗乃さんは「地区よりきれいな音を作って歌いたい」、果林さんは「みんなが気持ちを乗せて歌えるように伴奏したい」抱負を話しました。

全沖縄学校音楽発表会は12月26日に沖縄市民体育館で行われます。この大会でも体育館一杯に大宜味中の最高の歌声響かせてくれると思います。みなさん、応援よろしくお祈いします！！

そばは麺が命!? 令和元年度わんぱく体験団 第6弾「手づくりうちなあそば&修了式」

あつと言う間に今年最後のわんぱく。最後を飾る活動は…??

みんな大好き沖縄そばづくり。今回はめんから自分たちで作り、そばの上に乗せる具も自分たちで作ります。

めん作りの工程は①材料を混ぜる→②生地がまとまったら、こねる(とにかこねる)→③生地を寝かす→④生地を寝かせている間に具を作る→⑤生地を伸ばす→⑥生地をたたんで切る→⑦めんをゆでる→⑧めんに具を乗せ汁を入れてできあがり!の8工程です。沖縄そばって何からできているの? これだけの材料で大丈夫? ってか、こんな粉っぽい生地がめんになるの?数々の疑問の中、わんぱくめん職人たちは作業を開始しました。



混ぜて



まとめて



こねて



生地を寝かしている間に



卵焼き♪

伸ばして



切って



茹でて



食す



皆勤賞♪



生地を20分以上もこねるなど地味に辛い作業を経て、細麺、平麺、うどん、きしめん、すいとん?? 個性豊かな様々な沖縄そばができあがり!! さてさてお味は?? こちらも様々だったようです。自分で作った麺、どんな形、味であろうとおいしくいただきますよね。今回は最後の活動だったので、修了式も行いました。部活や行事で忙しい子ども達ではありますが、12名の団員が皆勤賞となりました。来年も楽しい活動をしていきたいです。

県立移動図書館がやってきた!!

11月2日(土)、沖縄県立移動図書館が旧大宜味小学校の多目的教室で開催されました。

今回は1人15冊までの貸し出しとなり、用意された本は絵本や児童書、小説、料理本など800冊以上。

今年はおおぎみ展との同日開催となっており、多くの方が会場へ足を運び、たくさん本を前にじっくり選んでいる様子が見られました。今回以外にも、県立図書館の本は旧大宜味小2階図書室でも借りることができるので、ぜひ利用してみてください。



祝2冠!! 秋季選手権水泳競技大会 女子平泳ぎ100m、200m優勝!! 大宜味中1年溝川唯花さん

10月20日(日)に奥武山総合公園において行われた第51回秋季選手権水泳競技大会に大宜味中学校1年生の溝川唯花さんが出場し、女子100m平泳ぎ、女子200m平泳ぎで見事優勝しました!!

この大会は小学生から成人まで幅広い年代の選手が出場する大会。女子平泳ぎにも小学生から高校生までも様々な選手が出場する中での優勝となりました。

今大会を終え、唯花さんは「今回は練習メニューが変わって調整が出来ていない中だったけれど優勝できて良かった」と話し、「来年夏に県中学校新記録大会(長水路)が行われるので、新記録まであと1秒なので、切れるように頑張りたい」と抱負を話してくれました。

夏には月2回、冬は月1回のハイペースで大会に出場している唯花さん、これからの活躍にますます期待したいと思います。



地域の食を学んで... 令和元年度学校給食文部科学大臣表彰 大宜味小



11月21日(木)、大宜味小学校の上間享校長先生が村長室を訪れ、大宜味小学校が学校給食の実施において文部科学大臣から表彰を受けたことを報告しました。

大宜味小学校では平成29年度、30年度の2年間、沖縄県食育研究指定校に委嘱され、「望ましい食習慣を形成する玉の指導の工夫～長寿の里の秘密を探る教材の開発を通して～」というテーマで食育に取り組んでいました。この取組の功績や校内の畑で野菜を育てて収穫し食していること、地域の食材を学校給食に積極的に

取り入れていることなどが評価され、今回の受賞となりました。おめでとうございます!!

プロの選手との交流に大興奮!! 大宜味小5年生シマノレーシングチームと交流会

11月11日(月)、ツール・ド・おきなわで活躍したシマノレーシングチームの野寺秀徳監督と選手5名が大宜味小学校を訪れ、5年生と交流会を行いました。

野寺監督はロードレースと競輪の違いや国内でロードレースができるのは沖縄のやんばるだけで、競技させてもらっている環境をきれいにしたいと言う感謝の気持ちからゴミ拾い活動を行ったことを話してくれました。また実際にロードバイクのタイヤを持たせたり、ローラー台に乗せたバイクをこぐ選手の姿を見せてくれたり、選手たちと直に話しながらふれあうこともできました。



野寺監督は「競技が行われているやんばるの子ども達にロードレースに興味を持ってほしい。知ってほしい」と話し、選手たちからは「自分の好きなことを見つけてほしい。それが変わってもいい。とにかく一生懸命になれる何かを見つけてほしい」と応援の言葉をもらいました。

スポーツに励んでいる子が多い5年生、世界で活躍している選手たちの声を聞いて自分たちが今やるべきことのヒントを得られたのではないのでしょうか。

自分たちの声を届けてよりよい村に… 令和元年度大宜味村子ども議会

11月22日（金）、令和元年度子ども議会が村議場で開催されました。昨年続き2回目となる子ども議会。今回は大宜味中学校1～3年生の11名が議員として選出され、「くらげネットの設置」や「通学路の街灯設置」、「信号機の設置」など生活に関わる要望や、昨年度の子ども議会で提案された「インターネットを活用した村の活性化」や「バスケットコート」の設置状況経過、「大地震や大津波の対策」、「宮城団地周辺地域の避難経路について」など災害対策に係わる質問など様々な質問が出されました。



議長の上地涼さん



質問には村長や教育長を始め、各課の課長が答弁し、子ども議員の的を得た質問に率直に答えていました。

議会の詳細については、後日冊子が配布されますので、そちらをご確認ください。



宮城力輝議員



宮城はち議員



照屋舜人議員



島袋愛埜議員



宮本大雅議員



安里満帆議員



大石洋平議員



宮城妃奈野議員



宮城梨琉議員



平良琉翔議員

図書室情報 大宜味村図書室（旧大宜味小学校2F） 大宜味村字大宜味1番地 0980-44-3009 村史編纂係内

これまでの利用状況 11月22日時点 ……………
 ○登録者数…32人
 ○貸出冊数…9月…75冊 10月…69冊 11月…63冊
 ○現在の蔵書数…3987冊 県立図書館借用…530冊

12月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

新本紹介 ※12月23日入荷予定



※本をリクエストした方は早めにご来室下さい。

移動図書館・図書室情報

第46回おおぎみ展

去った11月1日（金）から3日（日）に第46回おおぎみ展が開催されました。

今年で46回目を数え、市町村単位の展示会の中でも古い展示会です。一般作品122点、団体も併せると約700点と今年も多く作品が集まりました。企画展では「幼稚園・保育所のおもい出写真館」と題して、集合写真や保育などの作品が展示され、昔の自分を探し懐かしむ人も多くみられました。また重要無形文化財（工芸技術）喜如嘉の芭蕉布保存会から芭蕉布や県無形文化財の漆器部門の保持者である前田國男さんの作品も展示され、その技術に見入る人々も多くみられました。3日間で村内外から450名以上の皆様が来られ、第46回おおぎみ展も盛会に終わることができました。



第24回しまんちゅ芸能



浜千鳥



海ぬ千ボーラー



前又浜



子ども三線

11月4日（月）に第24回しまんちゅ芸能が開催されました。12の団体・個人での出演がありました。今年は何と言っても演目やジャンルが多種多様でありました。毎年出演されている琉球舞踊や日本舞踊、民謡はもちろん、エレキバンドやギターでの弾き語りやオカリナ、ピアノ、ミュージックベル、大正琴での演奏、フラダンスもありました。子ども達の出演も多かった印象でした。特に盛り上がったのは琉球舞踊での子ども達の踊りや金城清さんの踊りでは多くの拍手をいただきました。120名以上のお客さんがご来場頂きました。来年は25年目の節目の年でもあり、今年よりもっと盛り上がるように頑張っていきたいです。



大正琴



ミュージックベル



エレキバンド



ギター弾き語り



民謡



民謡



フラダンス



オカリナ演奏



日本舞踊：河内おとこ節



道

第15回やんばる学研究会で発表

11月16日（土）、金武町中央公民館において、第15回やんばる学研究会（仲原弘哲会長）が開催され、村史編さん係3名も参加し、研究者や専門職の発表に混じって、河津多恵子嘱託員が、「屋嘉比ノロ殿内所蔵の遺品・資料の紹介」と題して発表を行いました。発表は少々緊張気味ながら、これまで調査した屋嘉比ノロの宝物や衣裳等の調査結果などが簡潔にまとめられ、とても分かりやすかったと好評で、質問にも的確に答えていました。



他には、金武町教育委員会・川島淳「地図・絵図で見る金武町～集落の変遷と概況～」、国頭村奥・宮城邦昌「消えた県道1号線（辺戸・宇佐浜一奥・ユッピー浜）」、沖縄椿協会・山城英男「大宜味村のイノシシ垣について」、仲原弘哲「やんばるの祭祀とイノシシ」の発表がありました。

「深く掘れ己の胸中の泉、餘所たゆて水や汲まぬごとに（沖縄学の父伊波普猷の言葉）」の通り、市町村史や博物館など公的機関の専門職から市井の歴史愛好家まで幅広い会員が集い、“やんばる”をキーワードにした様々な研究成果や情報の発信源である通称“やんばる学会”は、中央の研究会や講演会などでは得られない、“コアなやんばるを”知る貴重な機会です。

今大会に合わせて、第9回から14回までの講演6本、発表16本をまとめた『やんばる学研究会 会誌第4号』が発刊されています。図書室で閲覧・貸出ができますのでどうぞご利用ください。

やんばる学研究会についてのお問合せは、0980-53-1342（名護博物館気付）。



村政施行111周年で村のあゆみを展示

大宜味村村政施行111周年を記念する式典・祝賀会が、11月11日（月）に改善センターで行われ、村史編さん係は、村政111年の歩みをパワーポイントと展示で紹介し、『大宜味間切絵図』も初のお披露目となりました。



パワーポイントによる説明



一階展示（年表と写真）



二階展示（大宜味間切絵図）

塩屋・田港のハーリーに会える！九州国立博物館



塩屋湾のウングミで半世紀近く使用されたハーリー船の新造に当り、平成16（2004）年に九州国立博物館へ寄贈された塩屋と田港のハーリー船は、平成17（2005）年開館の目玉展示として、一階エントランスで威風堂々と来館者を迎えていました。現在は、四階常設展示場のエントランスに腰を据え、沖縄の文化を発信する役目を担っています。

ミニデイで頭の体操～昔懐かしの写真に大興奮～

11月13日（水）津波ミニデイサービスで、元国頭村史編集副委員長の宮城樹正さんによる「津波の今昔」を集めた写真映像のプレゼンがありました。集まったお年寄りたちは懐かしそうに見入り、当時の様子を話していました。中には、話しているうちに忘れていた記憶が甦る場面もあり、皆さんの生き生きとした表情が印象的でした。



村史編さんだより

第104号 2019年12月1日 大宜味村村史編さん係44-8009 Eメール:sonshi@vill.ogimi.okinawa.jp

沖縄県地域史協議会 参加報告！

2019年度第2回研修会が10月4日に那覇市で行われました。今研修会の核は“沖縄と台湾の繋がり” 午前中は“台湾と沖縄に関連する史跡等の巡見”で、①天尊廟・天妃宮→②久米至聖廟（孔子廟）→③孔子廟跡（大成至聖先師孔子像）→④東町郵便局（台湾電信の海底電信線）→⑤伊波普猷生家跡→⑥小桜の塔、台湾遭害者之墓などを巡りました。

台湾は1895（明治28）年～1945（昭“20）年までの50年間、日本の植民地であり、多くの日本人が仕事を求め台湾に渡りました。また、八重山を中心とする台湾人の入植が始まったのは1935（昭和10）年頃からで、パイナップルや果樹栽培、水牛の導入などの農産物や技術が沖縄にもたらされ、戦後沖縄の産業発展に貢献しました。また、戦時中は宮古・八重山の多くの住民が台湾へ疎開するなど、沖縄と台湾には経済的交流以外にも深いつながりがあったことが、史跡を巡るうちに理解が深まりました。

午後は、沖縄県立博物館・美術館での座学研修。長年、八重山から台湾を取材し多くの沖縄台湾関係の著書を出版してきたジャーナリストの松田良孝氏による「八重山と台湾の関係を取材して」の講演に次いで、報告①「琉球政府文書デジタルアーカイブが目指す物～米軍統治下27年間の記録を未来に繋ぐ～」(小野百合子/県文化振興会)・②「台湾引揚者の声に耳を傾けて」(中村春菜/琉大講師)がありました。

①は、沖縄県公文書館ウェブサイト「琉球政府の時代」の開設を担当した専門員の作業の実際や、HP検索のコツなどを学ぶとともに、沖縄の歴史を紡いできた公文書を適正に管理する傍ら、県民のために活用するという姿勢に感銘を受けました。②は、証言集発刊のための聞き取り調査で感じた良かった点や問題点、体験者の記録を本にするときのタイトルの付け方など、勉強になることが多く、今後の業務に参考となる内容盛りだくさんの研修会でした。



①天尊廟…沖縄に渡来した閩（ピン）人三十六姓によって祀られた。三国志の英雄関羽と水を治める神「龍王」と共に祀られている。天妃宮…航海安全の神“媽祖”を祀る廟 昭和50年に再建された。



②久米至聖廟（孔子廟）…2500年前の偉大な儒学の祖・孔子を祀る廟で約340年前、琉球王国時代に公費で建てられた。40年後に明倫堂（県内初の公立学校）が併設された。



③孔子廟跡（大成至聖先師孔子像）…孔子像は久米至聖廟が昭和50年若狭の地に戦後復興されるのに合わせ、台北市政府から久米崇聖会へ贈られたもので、戦前に久米至聖廟のあった当地に建てられた。



④台湾電信の海底電信線（沖縄県電信電話発祥の地碑）…1896（明29）年、鹿児島—沖縄間に海底電信線が敷設されたのが沖縄における電信線のはじまりで、日本の植民地支配の拡大、強化とともに海底電信線も延びていったようです。



⑤伊波普猷生家跡…1876年生まれ。沖縄の郷土研究者として、言語・歴史・民俗に関する多くのすぐれた業績をあげ、「沖縄学の父」といわれる。著書に「古琉球」「南島方言史放」「琉球戯曲辞典」などがある。著作の全貌は『伊波普猷全集』(11巻、74～76)によりみることができる。



⑥小桜の塔、台湾遭害者之墓…「小桜の塔」は昭和19年8月22日学童疎開船対馬丸が攻撃を受け沈没し亡くなった学童と付添人1484人を祀る碑。「台湾遭害者之墓」は1871（明治4）年10月18日、宮古・八重山の船4隻が首里王府に年貢を納めて帰る途中、台湾近海で暴風に遭い宮古船1艘が遭難した。上陸した66人のうち54人が、台湾原住民によって殺害されたという事件が起こり、これにより日本政府は1874年、台湾出兵を行った。



「しまふとうば」ぬくとう 47



うみがーみー

「次号の原稿何日までにお願いします。」と【大教委通信情報交差点・心と心の交わり あじま〜】の編集者から毎回毎回催促されてはじめて書き始める。この欄を担当してちょうど4年目になるが、原稿が遅い私に対して苦言の一つも呈したい気持ちを丸めて側に置き、「かたくちわれー（片口笑）？」しながら優しく催促する編集者の思いに何とか応えたいと思うのだが、つつい発行間際になってパソコンと対峙するのが現状である。

4年と言うと4×12=48で48回書いてきたことになる。個人的には関心もする。書き始めた号から改めて全部読んでみたい気になった。

「書いて残す」ということは重要だと思う。時間が経つとひとつの歴史になる。小・中・高の頃に作られた文集等に自分の名前があり、書かれた文章を見ると、その頃の自分を振り返ることが出来たり、その時の時代背景等も思い出されてくることであろう。

長い人類の歴史の中で「人が書いたもの」が歴史の時代考証に役立っている。場合によっては新しく発見された「書いたもの」が歴史を変える場合もあったりする。今「書いているもの」が将来まで残れば貴重な史料になり得る。

大正から昭和にかけて大宜味村長であった天野鍛助氏は明治期から80歳余で亡くなられる昭和期まで個人的な日記を書かれていたそうであるが、「大宜味村史 資料編」に「天野鍛助日記抄録」として、大正9年8月3日から昭和21年11月28日までの日記が記載されていて、当時の大宜味村の一部を垣間見ることが出来る貴重な史料となっている。書くことの大事さを感じさせられる史料である。

・・・でいかへい ぬーがらはち（書）から んまーぐわぬ 時代までい 残すぬぐとう さんなーやーをー はく（書く）ぬとうきや 大和ぐちあらんぐっとうい しまふとうばしーはき（書）ばから なーふいん 上等 えっしがやーをー・・・。



今月の生きもの

ミサゴ：タカ科



広い空からこんにちは。私ミサゴでございます♪
 これからの季節、よく海岸線で見かけると思います。体も大きく、翼を広げたら160cmくらいもあって下から見たら白い翼が目立つから、すぐにわかるはず。私たちは魚が好き。ヘリコプターみたいに上空でばりリングして、そこから魚を探すの。魚を見つけたら急降下して捕まえます。ダツやチンだって獲ったこともあります。沖縄の海は獲物が多くてとても助かります。おいしい獲物ないかな～？

12月の行事予定



スケートの日

- | | | |
|---------------------------|-------------------------|--------|
| 1日（日） 中学校地区新人総体（バスケ） | 15日（日） 家庭の日 | 12月25日 |
| 中学校県名嘉ソフトテニス大会 | 19日（木） 交通安全シークワサー作戦 | |
| 2日（月） 区長会 | 20日（金） 喜保おたのしみ会 | |
| 3日（火） 中学校職場体験学習 ～5日 | 塩保おたのしみ会 少年を守る日 | |
| 5日（木） 小学校授業参観・校内持久走大会 | 21日（土） ジュニアウインターカップ県予選① | |
| 6日（金） 幼稚園生活発表会 | おきなわ地域教育の日 | |
| 7日（土） 塩保生活発表会 | 22日（日） ジュニアウインターカップ県予選② | |
| 中学校地区新人総体（ソフトテニス）～8日 | 25日（水） 幼小中2学期終業式 | |
| 第25回沖縄県中学校総合文化祭～8日 | 26日（木） ジュニアウインターカップ県予選③ | |
| 8日（日） 成人スポーツ大会 | 県ミニバス大会 ～28日 | |
| 11日（水） 「体験の翼」事前学習会② | 全沖音楽発表会 定例教育委員会会議 | |
| 13日（金） 県童話・お話・意見発表会（宮古大会） | 27日（金） ジュニアウインターカップ県予選④ | |
| 14日（土） 喜保生活発表会 | 官公庁仕事納め | |